

# 第2章

## 高山市の現状と課題

## I. エネルギー消費の状況

市内における平成23年度のエネルギー消費量は、原油換算\*で約27.5万kℓでした。

平成23年度のエネルギー消費量は平成18年度と比較し約1%の減であり、その推移はほぼ横ばいであるといえます。

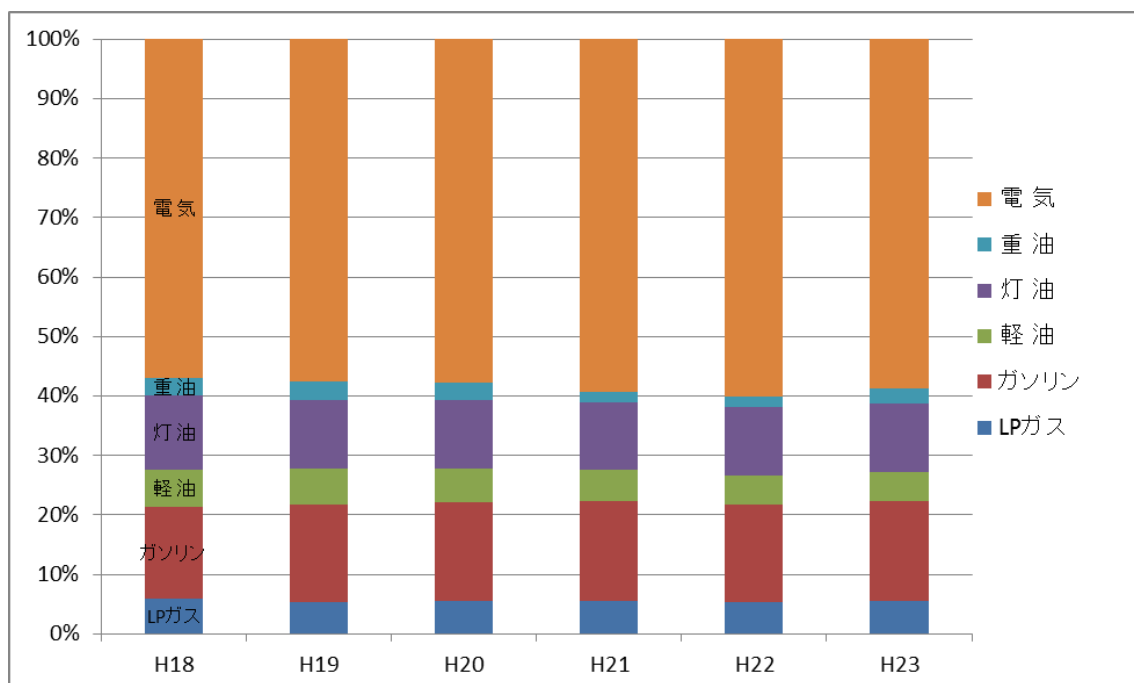
個別のエネルギーにおける消費量の推移をみると、電気、ガソリンの消費量は増加しているのに対し、灯油や軽油などの消費量は減少しています。

また、平成23年度に消費されたエネルギーの内訳をみると、電気が全体の約60%を占めており、次いでガソリンが約17%、灯油が約12%となっています。

【高山市におけるエネルギー消費量の推移】

(単位:原油換算kℓ)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H23構成比	対H18比較
LPガス	16,227	15,544	15,395	15,179	14,608	15,117	5.5%	93.2%
ガソリン	43,234	46,706	45,953	45,321	46,072	46,197	16.8%	106.9%
軽油	17,266	17,358	15,469	13,867	13,463	13,280	4.8%	76.9%
灯油	34,563	32,759	31,744	30,613	32,174	31,706	11.5%	91.7%
重油	8,272	9,080	7,969	4,999	4,936	7,185	2.6%	86.9%
電気	158,660	164,855	159,846	160,459	167,282	161,723	58.8%	101.9%
合計	278,222	286,302	276,376	270,438	278,535	275,208	100.0%	98.9%
前年比		102.9%	96.5%	97.9%	103.0%	98.8%		



(出典) 高山市環境政策推進課調べ

## Ⅱ. 新エネルギー導入の状況

高山市における平成23年度の新エネルギーの導入状況は、原油換算で約2,200 kℓであり、市内のエネルギー消費量の約0.8%に相当します。

その主なものは、太陽光発電、太陽熱利用(太陽熱温水器など)、バイオマス熱利用(ペレットストーブ\*など)であり、国内における新エネルギー供給量の割合が約4%であるのと比較すると、本市の新エネルギーの導入割合はまだまだ低いのが現状です。

しかしながら、住宅や事業所での太陽光発電設備の設置や民間事業者によるメガソーラー事業への参入、県や民間等による小水力発電導入に関する検討など、新エネルギーの導入に対する取り組みが広がり始めています。

【高山市における新エネルギー等推計導入量（平成23年度）】

(単位:原油換算kℓ)

新エネルギーの種類	導入量
太陽光発電	514
太陽熱利用	830
バイオマス熱利用	850
合計(A)	2,194
平成23年度年間エネルギー消費量(B)	275,208
新エネルギー導入割合(A/B)	0.8%

(出典) 高山市環境政策推進課調べ

### Ⅲ. 省エネルギーの取り組み状況

平成22年3月に策定した「高山市地球温暖化対策地域推進計画」では、平成32年度までに温室効果ガス排出量を平成2年対比で25%削減することを目標に掲げています。

計画では、循環型ライフスタイル推進対策、建築物省エネルギー対策、自動車運輸エコ対策、新エネルギー普及促進対策、森林吸収源対策の5つの重点施策を掲げ、省エネルギーをはじめとした地球温暖化防止に向けた取り組みをすすめています。

家庭や事業所などにおいても、省エネ家電、クリーンエネルギー自動車の購入、マイバックの持参によるレジ袋の削減のほか住宅のエコ改修やエコ新築、ペレットストーブや薪ストーブの導入、防犯灯のLED\*改修などの省エネルギー化がすすんでいます。

市の公共施設においては、「高山市環境配慮型公共施設整備指針\*」に基づく環境に配慮した施設整備を行っており、官民一体となった省エネルギーへの取り組みがすすめられています。

#### 高山市 地球温暖化対策 地域推進計画

平成22年3月  
高山市



## IV. 今後のエネルギー施策に関する課題

---

- ◆ 化石燃料や原子力発電への依存度を下げするため、市内のエネルギー消費量に占める新エネルギーの割合を高めるとともに、地域分散型のエネルギー社会の構築に向けた取り組みをすすめる必要があります。
- ◆ 住宅や事業所における建築物の省エネ改修の推進や省エネ家電、省エネ機器の導入など、一層の省エネルギーへの取り組みをすすめる必要があります。
- ◆ 2つの国立公園や5つの県立自然公園といった豊かな自然環境や伝統的建造物群保存地区などの歴史に育まれた貴重な文化遺産を有しているため、地域の自然環境や景観に配慮しながら、新エネルギーの導入をすすめる必要があります。
- ◆ 広大な森林や豊富な温泉資源などの自然エネルギー資源を有しており、地域の自然環境や資源の状況を考慮しながら積極的かつ有効に活用していく必要があります。
- ◆ エネルギーの効率的な利用をすすめるため、地域が連携してエネルギー対策に取り組む仕組みづくりをすすめる必要があります。
- ◆ 農業分野や観光分野などの地域産業において、積極的な新エネルギーの活用を図り、地域経済の活性化につなげる必要があります。
- ◆ 新エネルギーの導入や省エネルギーの取り組みをより一層すすめるため、市民、事業者が主体的・積極的に取り組む必要があります。

